



新年 明けましておめでとうございます

年を越す大きな節目の17日間の冬休みを終え、大きな事故や怪我もなく3学期を迎えることができました。石川県の能登半島地震で尊い命を奪われた方々、依然安否不明の方々、被害に遭われた方々哀悼の意、心からのお見舞いの意を表しながら、今年の干支「辰」にちなみ「画竜点睛」と「二匹のオオカミ」、虚子の句を引用しながら、次のように話をしました。ご家庭でも話題にあげていただき、背中を押していただければと思います。今学期も、職員一同「ものを言うものに成る 人づくり」に取り組んでいきます。今年もよろしくお願いたします。



○「画竜点睛」 絵画の名人が竜の絵を描き、最後に睛(瞳)を描き入れると、竜が天に向かって飛び立った。

- 物事を完全なものにするためには、最後に大切なところに手を加えること。
 - ⇒最後の詰め、仕上げをしっかりとしりっぱに成し遂げることが大切という意味で使われる。
 - ・日常生活でも、ずっとうまくいっていたのに、最後の最後に手を抜いて全てが台無しになった経験
 - ・学習でも、部活動でも、係活動でも、よくあること。
 - ⇒このように最後の詰めが甘くて失敗してしまう意味で、「点睛を欠く」という言葉がある。
- 今日から始まる3学期は、最後の学期、まとめの学期、締めくくりの学期
 - 1年生は、玖島中学校の次の時代を担う中堅の2年生へ向かって
 - 2年生は、玖島中学校の中心として先頭に立つ3年生に向かって
 - 3年生は、玖島中学校の誇りを胸に次のステージへ向かって、
 - ※今まで描いてきた竜に最後の瞳を描き入れる時を迎えた。
 - ※失敗したり、うまくいかなかったりという、「点睛を欠く」ことにしてはならない。
 - ※自分の、自分たちの目標に向かって最後の詰めに大事にしながらラストスパートをしよう。
- 「去年 今年 貫く棒の如きもの」という高浜虚子の俳句(1月の屋外掲示板)
 - ※去年と同様、今年も、一本の堅い棒のように、変わらぬ信念をもって歩んでほしい。
 - ※新しい年の始まりが誰にも平等に与えられた。今を大切に生きなければならない。
 - ※君の始まり、新しい年、チャンスの始まりを生かすもダメにするのも自分次第である。



○心の中にある「二匹のオオカミ」 アメリカのチェロキー族の教えから

- 「良いオオカミ」
 - ・努力する心、たくましい心、立ち向かう心、優しい心、思いやりの心、明るい心、穏やかな心、広い心、深い心などをもったオオカミ
- 「悪いオオカミ」
 - ・怠け心、か弱い心、逃げる心、冷たい心、むごい心、暗い心、荒々しい心、狭い心、浅い心などをもったオオカミ
 - ※この二匹のオオカミは、心の中でいつも争っている。私の中でも、この二匹のオオカミがたえず戦い合っている。君たちの中でも同じ闘いが起きているはずだ。これはまた、すべての人たちの心の中でも起こっている。
- どちらのオオカミが勝つか?
 - ※餌を多く与えた方のオオカミが勝つのである。
 - ※どちらのオオカミを勝たせるかは、飼い主である君たちにかかっている。
- 卒業式まであと65日、修了式まであと73日
 - 登校する日数は本日を入れて1・2年生は51日、3年生は入試などを考えなければわずか46日
 - 令和5年度も、実に短く、限られた時間となった。皆で1日1日を大切にしよう。



○「玖島中」が本物へ続く姿に「自信と誇り」を

- 昨年度から「ものを言う ものに成る 人づくり」を学校教育目標の実現に向けて
 - ⇒『あいさつ』、『校歌』、『笑顔』が輝く学校を目指してきた。
 - 皆さんの「あいさつ」は見違えるほどよくなった。それに伴って「笑顔」も校内にあふれている。
 - 確実に「玖島中」は前進している。
- それぞれの生徒、それぞれの学年の活躍をたたえながら、令和6年を迎えることができた。
 - ⇒さらに進化して令和5年度を締めくくりたい。
 - 2学期の終業式でも話したが、一人一人の一步は小さい、しかし、438名の集団となればとてつもない力、歩みとなる。
 - ※一步前に踏み出せず、下を向いたり、立ち止まっていたりした人がいれば、君の心の中の「良いオオカミ」に餌を与え、僕の私の一步を力強く踏み出してほしい。
- 今後も、努力と成長を続けている自分自身に、そして「玖島中」が本物へ続く姿に「自信と誇り」をもち、皆でさらに前進を続けよう。
- ※皆さんが大きな成長を遂げて今年度を締めくくり、描いた竜に瞳を確実に描き入れ「画竜点睛」を実現させ、そして「玖島中」をさらにすてきな学校にしよう。

